


☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



ヤマシャウヤク

# 大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会  
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19  
内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
URL http://oskougai.com/  
発行責任者 金谷 邦夫  
年間購読料一部2,000円(送料共)

## 2015年関電株主総会 脱原発の市民の声に背を向け、許すことなど到底出来ない!

### 「原発早期再稼働に全力を尽くす」 関電経営陣

2015年度の関西電力株主総会は、6月25日神戸市中央区「ワールド記念ホール」で開催されました。ここ数年、「株主様の利便性を考慮し…」との会社側の説明とは真逆の不便な会場、出席株主からはブーイングの意見も。何よりも参加者が激減しています。

今回は、電気料金の再値上げ後の株主総会であり、また、今期も無配当とあって経営陣の手腕が問われる総会です。原子力発電所の停止による火力発電の燃料費の増加との説明の下、今期も連結決算は1483億円の最終赤字を計上。3年連続の無配。企業、家庭向けともに電気料金の再値上げをした。さらに、4月には、高浜原発3・4号機が福井地裁で運転差し止めの仮処分決定が下され、業績回復の頼みとする原発の再稼働は見通せない。脱原発で身軽な経営への転換が求められるが…。八木社長は「高浜原発3・4号機をはじめ安全性が確認された原子力プラントの早期再稼働に全力を尽くし黒字構造へ転換する」と。

本稿は、総会での原発論議に特化して報告します。

Q: 福島事故をどう考えるか?

「同じ電力会社として重く受け止める。炉心損傷を起こさないことだ。」

Q: 京都市の門川大作市長「脱原発を経営方針に掲げることを強く求める」

「電力の安全安定供給が当社の使命。原発・火力・再生可能エネルギーなど電源特性を踏まえバランスのとれた供給体制が重要。原発は、世界最高水準

の安全性を目指す。」

Q: 防災対策では立地自治体との安全協定は?

「安全協定は、原発建設、運転に際し、地元の安心のために締結するもの。」

Q: 北陸電力の志賀原発2号機への多大な財政負担、断層があり廃炉にせよ

「志賀2号機は、余剰電力を当社と中部電力に融通送電する。負担金は運営維持費用だ」

Q: 再稼働の前に福島の事故原因の特定が先。福島の被曝をどう考えるのか。

「有識者会議が津波による全電源喪失が事故原因だと結論。防潮堤建設で万全を期す。被曝は、世界保健機関が、一般住民の健康被害が生じるレベルではないとしている。」

Q: 原発や送電線のテロ対策は

「テロ対策は2段階。不法侵入の早期発見。内部侵入をさせない。武力テロは国が中心となって対処する。送電線破壊等には発電機、電動車など多重



減り続ける総会出席者。写真は今年の総会の模様。今年にはさらに減少している。

に対策を講じている」

Q: 高浜原発の地元はどこを指しているのか。

「地元とは、高浜町と福井県。京都府については安全協定を締結し、地域協議会を設けている。隣接地域には丁寧説明していきたい」

会社提案の3議案以外の株主提案のすべてを否決し、4時間を超える総会は終了しました。

(報告 藤永のぶよ)

**第20回**

**環境**

**学校**

お誘いあわせの上お気軽にご参加ください。

- いま大阪経済をどう救うか  
公害・環境・公衆衛生分野で何をなすべきか  
講師：中山 徹氏 (奈良女子大学教授)
- 原発再稼働と火山噴火の危険性はどうか  
講師：古儀 君男氏 (日本科学者会議京都支部)

日時：2015年9月19日(土) 午後1時30分～4時30分 (1時間場)

会場：エル・おおさか 南館 10階

資料代：1人500円 (学生無料)

大阪から公害をなくす会  
電話 (06) 6949-8120